

◆ 事務局

第65回建築士会全国大会「しずおか大会」のご案内

日時:令和5年10月27日(金)

会場:静岡グランシップ(静岡市駿河区東静岡 2-3-1)

申込締切:令和5年7月14日(金)まで富山県建築士会事務局に、会誌5月号(39ページ)の参加希望申込書を提出願います。

・富山支部主催のツアーに参加される方は上記お申し込みに加え、別途富山支部へのお申し込みも必要です。

・会員の大会登録費6,000円のうち5,000円は本会で負担します。

全国大会に関するお問合せは、富山県建築士会事務局(TEL 076-482-4446)までご連絡下さい。

「令和5年度建築士定期講習」の日程について

令和2(2020)年度に受講された方は今年度が受講年度です。申込用紙の窓口配布はありませんので、ご入用の方は建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードしてください。3年前に普及センターの建築士定期講習を受講された方には、年度初めに普及センターから申込用紙が郵送配布されています。

会場コード	日程	会場	講義	定員
3B-03	9月25日(月)	砺波まなび交流館	DVD	80
3B-04	10月5日(木)	高岡文化ホール	DVD	100
未定	令和6年 3月中旬頃	富山市(予定)	未定	128

時間:9:20~17:30

受講料:12,980円(消費税・テキスト含む)

申込先:建築士会事務局 平日9:00~17:00

問合先:建築士会事務局 担当:佐藤

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

「令和5年度既存住宅状況調査技術者講習」(DVD講習)の日程について

令和2(2020)年度に受講された方は今年度が更新年度となります。他団体で資格取得された方も、建築士会の講習で更新が可能です。

区分	回	日時・会場	定員	CPD	受講資格
更新講習	①	8月24日(木) 富山県教育文化 会館集会室	60	2単位	受講時点で 資格が有効 期限内の方
	②	9月1日(金) 富山県建築設計 会館3階	16	2単位	受講時点で 資格が有効 期限内の方
新規講習	①	8月30日(水) 富山県建築設計 会館3階	16	5単位	建築士 (一級、二 級、木造)

時間:更新講習 13:30~16:40 新規講習 9:30~17:00

受講料:更新講習 郵送申込17,600円 WEB申込17,000円
新規講習 郵送申込22,000円 WEB申込21,450円

申込先:日本建築士会連合会

申込方法:①、②のいずれか

①日本建築士会連合会 HP からオンライン申込

②日本建築士会連合会 HP から申込書類をダウンロードし郵送

※詳細は同封のチラシ及び日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

建築関係技術者のための「監理技術者講習」 (DVD 講習)のスケジュール

回	開催日
③	令和5年7月11日(火)
④	令和5年9月28日(木)
⑤	令和5年11月10日(金)
⑥	令和6年3月22日(金)

会場: 富山県建築設計会館 3階

時間: 受付 9:00 開始 講習+試験 9:30~17:25

※詳細は日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

◆ 新川支部

木造建築物技術講習会開催のご案内

日時: 令和5年7月22日(土) 13:30~16:30(受付 13:00~)

会場:

①滑川市民交流プラザ 3階研修室2 滑川市吾妻町 426

②榊ATA事務所(見学先) 滑川市北野 418-2

内容:

①とやま県産材の活用について(13:30~14:15)

講師: とやま県産材需給情報センター 担当

②CLTを活用した榊ATAの新事務所について

講師: 榊ATA 担当

(1)新事務所の計画の経緯、目的、要点等(14:30~15:00)

(見学先へ移動: 30分)

(2)新事務所の見学・質疑応答(15:30~16:30)

建築 CPD: 2 単位

定員: 40 名程度(どなたでもご参加ください。)

参加費: 会員無料、非会員 1,000 円

申込方法: 7月14日(金)まで、E-mail 又は FAX にて、「氏名、所属先、連絡先」をお知らせください。

申込先・問合せ: 榊ハウズケアトナミ内

滑川市建築士会事務局 E-mail: h-tonami@hauzucare.jp

FAX 076-474-8778 TEL 090-3764-8622

◆ 富山支部

第 65 回全国大会「しずおか大会」バスツアーのご案内(予定)

全国大会「しずおか大会」の開催に併せバスツアーを企画しました。

日時: 令和5年10月27日(金)~28日(土)

大会会場: 静岡グランシップ(静岡市駿河区東静岡 2丁目 3-1)

バス乗降場(予定): ①富山駅北口、②砺波高岡スマートインターチェンジ駐車場

概略の旅程:

10月27日(金) 富山駅北口(7:30)—砺波高岡(8:10)—会場到着(15:00)

10月28日(土) ホテル(9:00 出発)—静岡県内建築見学会—砺波高岡(19:15)—富山駅北口(20:00)

・静岡県内建築見学会予定施設: ①日本平夢テラス ②資生堂アートハウス

※今後の交通状況の変化により変更となる可能性があります。

宿泊場所: 静岡第一ホテル (宿泊費(朝食付): 8,000 円程度を予定) ※上限 24 名

定員: 30 名程度

参加費(往復バス代): 宿泊費、食費等は含まず 最大 25,000 円程度の予定

建築士会会員外は 5,000 円増

問合せ先: 富山支部担当: 小見(E-Mail: komi@fukumi-aa.co.jp)

(携帯: 080-6363-1945 電話: 076-432-7855)

・行程詳細、参加費並びに申込方法等は、8月号のホットラインに掲載します。

・往復バス利用のみ(宿泊は個人手配など)、片道のみのバス利用についても受付ける予定です。

・参加希望の方は、期限(7/14)までに必ず大会登録申込をお願いします。

◆ 富山県建築文化賞協議会

第 54 回富山県建築文化賞建築賞募集(令和5年度)

今年度の建築賞の募集を7月初旬から開始予定です。

平成31年4月1日から令和4年3月31日までに富山県内で竣工した建築物が対象で、「一般部門」と「住宅部門」があり、富山県建築士会事務局で応募を受付けます。

申込等詳細は、来月号に同封の募集要綱又は本会ホームページをご覧ください。

本会年会費・CPD 会費の口座振替ご利用の方へ
本会年会費・CPD 会費は、毎年 6/27 が振替日です。
今年も 6/27 に振替させていただきました。

(公社)富山県建築士会 富山ブロック被災地訪問事業

2022年9月、二泊三日の行程で2012年、2016年に続き富山士会として三度目の被災地訪問事業を企画し、根塚副会長を団長に総勢16名で訪問させていただきました。

9月23日(金)始発の新幹線乗り継ぎ岩手県一ノ関駅で下車。宮城士会の清本様・岩井様が合流され、10人乗りのワゴン2台に分乗して訪問事業がスタート。牡蠣づくし昼食の後、最初の訪問地、岩手士会



苗植が完了した新高田松原

の永田様のお話を聞いた【高田松原復興祈念公園津波伝承館】へ。あの日ここで起きていた事、震災前に地元の古い街並みを再生・保存するため富山県八尾町をモデルに取組まれようとしていた事、奥様から娘さんに宛てた手紙のレターなど、たくさんのお話をうかがった。何年か後、立派に育った高田松原をまた見に来たいと思った。

気仙沼に移動し、校舎の4階まで押し寄せた津波の跡が生々しい【津波伝承館】を見学。国道45号線を南下し、防潮堤と一体整備された【道の駅大谷海岸】を通り、付近の護岸と共に整備が完了した日本一巨大な防潮堤がある【小泉海岸】に到着。周りを見渡し一体どれだけのコンクリートが使われたのだろうか。日も暮れて、暗く細い道を行き、秘湯【追分温泉】へ。食べきれないほどの地元の海産物と美味しいお酒を堪能。



追分温泉前で

9月24日(土)南三陸町へ向け出発。役場の方の解説で【南三陸さんさん商店街】と開業直前で隈研吾氏設計の【道の駅南三陸】を外から見学。【防災対策庁舎】を見上げ、あらためて津波の高さを感じる。沿岸部を通り、北上町十三浜の設計北上事務所佐々木様と震災当時の自治振興会長のお話を聴く。日頃から地域内での人々の繋がりの大切さを改めて認識する。その後、過去にも二度訪れた【大川小学校】へ。震災遺構として整備が完了しており立派な資料館が併設されていた。

リア式海岸沿いの国道398号線を通り女川町へ入る。【シバリア女川内のおかせい】で女川井をテイクアウトし美味しく頂いた後、町の復興再生に深く携わられた木津様より、短期間で計画し実行された事業概要について座学と街歩きを交えて解説頂く。【女川交番】は中心街の復興に取り込まれる形で遺構として整備されていた。

とても大きな【石巻魚市場】を遠目に見ながら車を進め、【震災遺構門脇小学校】を外から見学。

仙台市に入り、宮城士会の皆様との交流・懇親会を開催。活動報告会では仙台の【福祉キャラバン隊】、富山の【かぐてんぼう隊】の報告を行う。両会併せて30名以上の参加のもと、全員による近況報告や今回の訪問事業に対する思いを一言ずつ発表。各自笑いあり・涙ありの内容で大いに盛り上がる。



懇親会でのひとコマ

9月25日(日)最終日は素晴らしい晴天のもと、仙台市蒲生地区の見学からスタート。中野ふるさとYAMA学校の佐藤様のお話。堤防を越え、日本一低い【日和山】登山。全員無事登頂し、登頂証明書を手に記念撮影。干潟には元々生息していた小さな生き物が少しずつ戻ってきている。【山元町震災遺構中浜小学校】を見学後、常磐道を南下し、福島県へ。道中の放射線量看板を目にしながら双葉郡浪江町に入り、大勢の人で賑わう【道の駅なみえ】で昼食。ここで福島県建築士会の遠藤会長に合流頂き、様々な資料のある【原子力災害伝承館】を見学。「原子力郷土の発展豊かな未来」のレフレウ看板を目にする。

遠藤会長に私どもの車へ同乗頂き、双葉町から大熊町にまたがる中間貯蔵施設の境界特定再生復興拠点及び中間貯蔵施設の付近を車で通りながら現状の解説を頂く。全車をつなぐLINEの同時通話機能が役に立つ。新しく完成した双葉町の役場と駅付近を通るがここには人が居ない。あの日のままの場所がまだまだ残る一方、公営住宅や学校、商業施設も建設され、故郷に戻りたいと願う人々の受け皿の整備が徐々に進んでいた。最後の訪問場所【大熊インキュベーションセンター】に到着。見学後、遠藤会長との意見交換会を実施。この地域の現状と今後について更に皆で理解を深める。



大熊インキュベーションセンター

ここまで同行いただいた皆様とお別れし、郡山駅から富山へ全員無事に帰りました。あの日から12年が経過しました。未来に向けた復興が進んでいる所、そうでない所、様々でした。参加者の【復興】に対する思いも様々です。参加者それぞれ色々な事をあらためて考えさせられた3日間でした。最後になりますが、本訪問事業の計画並びに実行にあたり大変ご協力いただきました岩手・宮城・福島県建築士会の皆様には心より感謝申し上げます。

(公社)富山県建築士会富山支部 富樫 吉規



富山支部 県内建築見学会事業

「オーバード・ホール／中ホール見学会」事業報告

■見学建築物概要

建築主：富山市 設計：久米設計・押田設計・空間創造研究所 設計監修：隈研吾建築都市設計事務所
施工：佐藤工業・スター総合建設共同企業体

【見学会内容】

2023年6月14日(水)

14：00～14：30 概要等説明(オーバードホール1階ハイビジョンシアター)

14：40～15：40 施設見学会(オーバードホール 中ホール)

【参加者数】 計54名

士会会員36名、賛助会員8名、JIA会員4名、一般1名、
佐藤工業(株)様4名、富山市文化国際課1名

2023年7月1日、富山駅北の「オーバード・ホール／中ホール」開館に先立ち、富山支部主催で施設見学会を実施しました。

先着40名の募集がすぐに満席となった大人気の見学会でした。

第一部「概要等説明」では、西尾康弘氏(佐藤工業・スター総合建設共同企業体 作業所長)による、施工図面や写真、動画をふんだんに提供していただきながら、施工管理を中心とした解説をしていただきました。

22カ月の工期の中、隣接する民間事業工事と敷地共有といった大きな制約の中で、メインロビーやホール、地下の昇降床収納室の大空間を構築するための綿密な施工計画と実施が必要だったことなど、想像を絶する現場であったことが西尾氏のお話から伝わってきました。

第二部「施設見学会」では、開館後にはわたくしたちが利用できる施設や観客席をはじめ、普段立ち入ることができないメインステージやバックヤードも見学させていただきました。

見学中も、参加者からさまざまな質問が飛び交い、西尾氏からの丁寧な回答で充実した見学会となりました。

特に、第一部の西尾氏から説明のあった施工状況をイメージしながらの見学会は、建築士としても大変興味深い内容となりました。

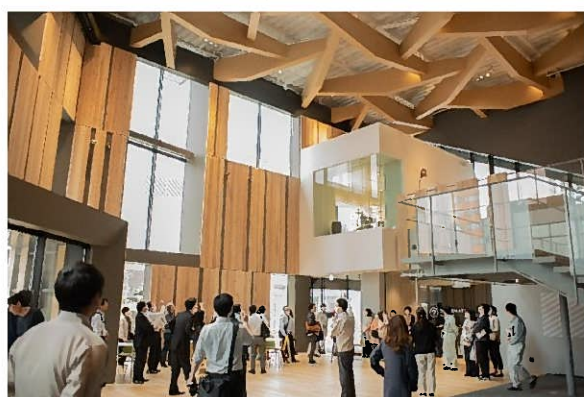
富山支部 前田哲宏



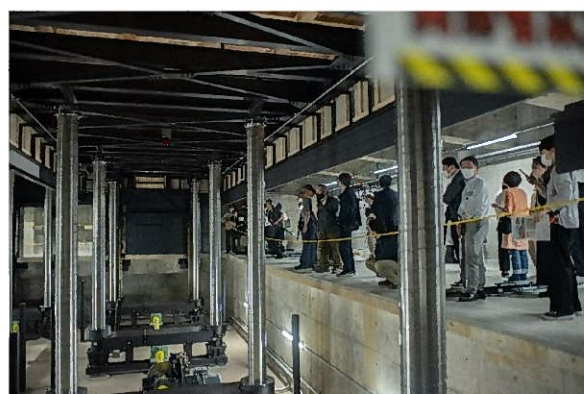
開館に先駆けて、舞台上昇って記念撮影



作業所長 西尾康弘氏による工事概要説明



メインロビーの大空間構造について解説



様々な舞台パターンを可能にする、巨大な地下昇降床収納室